

梅桜桃李

「生まれ出ようとする鳥は、自らをとりまく一つの世界を破壊しなければならぬ」ヘルマン・ヘッセの言葉である。自ら殻を破り、翼を広げて飛び立つ鳥のように、決然と歩みを定めるべくその時に向けて、さあ現在ここで何ができるか——。世界中が、君を待っている。

“〇〇の秋”、さあどうするか？

秋深まる10月を迎え、いよいよ今年度も「折り返し」地点です。それぞれの立ち位置で迎える折り返し地点から見える景色は、一体どんなものでしょうか。

秋の時間というものを考える上で、なるほどなあと思わされる言い伝えを紹介します。



「秋の一日、春の七日」

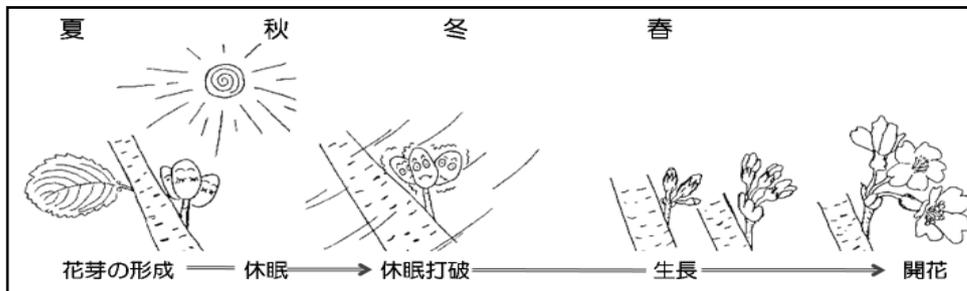
〔意味〕農作業に使われる戒めの言葉。立秋を過ぎて、日照時間が短くなり、気温も下がっていく秋の栽培は、1日の作業の遅れが春の7日分の遅れに相当するという言い伝え。

だんだん暖くなる一方の春先には、播種が多少遅れてもそんなに大きな違いはありませんが、寒くなる一方の秋は、播種が遅くなると作物の生長への影響が大きくなるので、この時期はしっかりと天候や時期などの状況を見極めて作業を進めなければならないということなのでしょう。

私はこれを見て、**受験の世界においても「秋の一日は春の三日分」**などとよく言われているのと同じだ！と、ハッとしました。人間も植物も、秋をどう過ごすかということは、非常に重要なのだと思わせられました。

もう一つ、秋から冬にかけての時間について、そうだったのかと思わされる事象を紹介します。

皆さんは、桜の開花の仕組みはご存知でしょうか。気象庁のHPに次のような絵が載っていました。



桜の花芽というものは、意外にも桜が満開になって散った後の夏場に早々と作られるようです。それでも、そのまま秋に咲いてしまわないのは、咲いてしまっては越冬できないことを“知っている”から。そこで、敢えて秋には「休眠」するのです。そして、厳しい冬の寒さで“覚醒”。これを「休眠打破」と呼びます。その後、気温の上昇とともに生長し、毎年春になると爛漫と咲き誇るのです。

毎年いわば予定調和的に咲く桜が持つ、このような仕組みに奥深さを感じるのは、私だけでしょうか。進化の過程で涼しい秋は休眠するという生存戦略を採用した、**桜のしたたかさ**。冬の厳しさから逃げることなく、自らの生長に必要なものとして受け容れた、**桜のしぶとさ**。満開という一瞬のきらめきのために、したたかに、しぶとく劣を惜しまない桜。実に奥深い存在だと思えます。

桜とくれば、「梅枝」の梅ですね。本校HPには、梅章の由来に関連して次のような説明があります。

梅はよく厳寒風雪に耐え、百花にさきがけて開き、その高尚優美なさまは、他の花の遠く及ばないところである。古くから「氷肌玉骨清而无汚」とうたわれてきた所以である。また、その果実は広く薬用として、人類のために役立ってきた。

梅もまた、秋冬の寒さを乗り越えて、咲く花の一つです。さて、皆さんは、この秋冬をどう過ごしていきますか？ Do しますか？ 一人一人の有意義な“〇〇の秋”となることを期待しています。

【今後の進路関係行事予定】

10月20日(金) **リベラルゼミ・第4回** 講師：藤本 正樹 先生

… 世界115ヶ国を回りながら、世界の今について考えてきた実践家

テーマ：「世界のリアルを知ろう！」 ※ 詳細は、クラスルームを確認

- ◆ 毎回“熱い講演”になるという藤本先生から語られる世界の現状とはどんなものか？
今から非常に楽しみです。

11月24日(土) **リベラルゼミ・キャリア** (「仕事の日」第2回)

講師：高橋 彩水 さん (株式会社 ラニット 代表取締役) … **テーマ**：ものづくり・ファッション

：清水 まりな さん (アピイ犬猫病院 院長) … **テーマ**：まちの獣医学

：阿高 あや さん (東京農業大学 非常勤講師・JCA 主任研究員)

… **テーマ**：協同組合とSDGs

- ◆ 7月に続いて、今年2回目の新企画「仕事の日」。福島を軸・拠点にして活躍する、
気鋭の実践家に学びます。今回は、3人の女性講師陣による企画になります。今後の
進路選択を考える上で、是非参考にしてみてください。

12月8日(金) **リベラルゼミ・第5回** 講師：小松 理虔^{りけん} 先生

… 浜通りから、福島/Fukushima と向き合う地域活動家

テーマ：「浜通りから考える、福島のなりたい未来」(仮)

※ 詳細決まり次第、後日クラス掲示

- ◆ 地元に着しながら、足元から考える活動をされている印象があります。今年度から、
福島工業高等専門学校で非常勤講師もお務めとのことで、高校生とともに考える
中で、どんな思いが去来しているのか、是非聞いてみたいところですね。

リベラルゼミは、福島高校ならではの探究活動の一つです。文系・理系の枠にとらわれない様々な分野で活躍する、大学で研究している先生はもちろん、在野で活動する実践家の方々など、幅広い講師陣をお招きして講演をいただくのが、その特徴の一つです。そこで得たヒントから、生徒自身が校内外で探究する「リベラルゼミ・ダイアログ」という活動の場も展開可能です。

“今、ここでしか聞けない” 講義ばかりですので、是非一人でも多くの皆さんに参加してもらい、福高生の「知の世界」が広がることを切に願っています。

【1・2年生模試関係】

10月14日(土) **駿台全国模試**

… 全国屈指のハイレベルな母集団の中で受験する、難関大学対策のための記述・論述模試。

11月2日(木)・4日(土) **進研模試**

… 7月回からの伸びを実感できるかどうか。2年生は初めての5教科での受験。

【3年生模試関係】

10月13日(金)・14日(土) **ベネッセ・駿台記述模試** … 最後の記述模試、二次力の腕試し！

10月27日(金)・28日(土) **ベネッセ・駿台共通テスト模試** … 6月共通テストからの素点の伸び！

11月上旬 **各種冠模試** … 志望大学に特化した母集団の中での腕試し！

11月24日(金)・25日(土) **全統プレ共通テスト** … 冬休み前の総点検！

全学年ともに、模試が続く季節になります。「受けっぱなしにしない」とはよく言われることですが、各回にしっかりと課題意識を持って、“目の前のその一問”にこだわる姿勢で臨みましょう。